

岐阜県官民データ活用推進計画 概要版

方針

いつでも必要なデータを活用可能に

オープンデータの拡充とデータ提供環境の整備

計画期間

2019年度 ～ 2023年度

官が持つデータの流通を円滑にするため、公開データの「質」と「量」を向上させ、データ提供とデータ活用の好循環を加速化

① 県内オープンデータの広域化・標準化

県データ・市町村データの水平統合と公開

- ・県保有データに県内市町村保有データを加え、県内広域データとして、統一形式で県カタログサイトにて公開（AED設置個所、公共施設一覧、文化財一覧等）
- ・市町村のみが保有するデータについても、ニーズの高いものを一括して公開（避難所、消防水利施設等）
- ・併せて、県が保有しているデータの公開数を増加

② リアルタイムデータ／大容量データの提供

リアルタイムデータの提供

- ・民間サービス事業者からのニーズが高い、雨量、水位、道路規制等のリアルタイムデータを提供
- ・各種のリアルタイムデータを提供するため、システム連携によるデータ提供プラットフォームを構築

大容量データの提供

- ・道路台帳や航空測量データなどの大容量データを提供
- ・大容量データ提供に関する仕組みや技術要件を、民間と協働で調査、研究し、システムを構築

③ 民におけるデータ活用の促進

民ニーズ把握

- ・岐阜県版官民ラウンドテーブル（県各部局や各市町村と民間企業の直接対話）を開催
- ・ソフトピアジャパン、NPO等と連携し、企業及び県民のデータニーズを把握
- ・収集したニーズは、オープンデータの提供に反映

データ活用を支える人づくり・環境づくり

人づくり

- ・県職員や、市町村職員向けデータ活用研修の実施
- ・データ活用教育の推進

環境づくり

- ・データの加工・編集・二次利用を前提とした規格の整備や互換性の確保
- ・データ提供を前提としたシステム構築時のルールづくり

オープンデータの拡充とデータ提供環境の整備 概要

県、市町村が
保有している情報



○県・市町村データの 水平統合

県内広域データとして統一形式で公開
・AED設置個所
・避難所 等

○データの 標準化

機械判読性の高いファイル形式に変換

県カタログサイト



公開

活用

企業・NPO等

要望

○民ニーズの把握

・官民ラウンドテーブルの開催
・ソフトピアジャパン等と連携したニーズ把握

リアルタイムデータ提供
プラットフォーム

大容量データ
提供サイト

○リアルタイムデータの提供

・河川水位情報
・避難勧告等発令情報 等

○大容量データの提供

・道路台帳データ
・航空測量データ 等

収集

大容量
の情報

動的な
情報

公開

公開

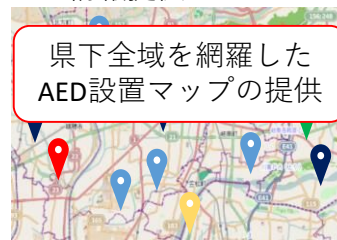
活用

活用

新サービスの 創出

< AED情報提供サービス >

県下全域を網羅した
AED設置マップの提供



県民サービスの 向上

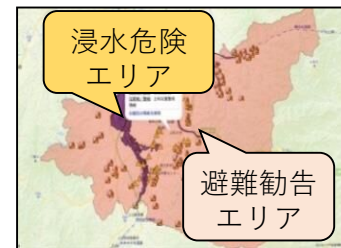
現在地から最寄りのAED設置場所を検索できるようになり、迅速な応急措置が可能に

< 消防水利情報提供サービス >



周辺地域の水利情報が検索でき、消防団、自主防災組織、応援消防職員の緊急時対応の参考となる情報を提供

< 防災情報提供サービス >



状況が刻一刻と変化する災害発生時に避難の参考となる最新の情報を提供

< 図面情報提供サービス >

道路台帳附図や
道路幅員等を提供



運送ルート検討時の判断材料としての活用や新規道路開通時の地図への反映の迅速化など、道路利用における利便性を向上